

スギラン

Lycopodium cryptomerinum Maxim.ヒカゲノカズラ科
Lycopodiaceae

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 IB

選定理由 北海道東部から屋久島にかけて希に分布する。本県での生育地は少なく、自然林の伐採や風水害などにより消滅した生育地が増えており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布 津江山地，九重火山群，祖母・傾山地，北川上流域

分布域 北海道東部,本州,四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
韓国済州島,台湾,インド

生育環境 低山地の自然林内の樹幹や岩上に着生。

現 状 県内における確実な生育地は数か所となっている。

ミスズギ

Lycopodium cernuum L.ヒカゲノカズラ科
Lycopodiaceae

カテゴリー

大分県 II

環境庁 掲載なし

選定理由 熱帯・亜熱帯性のシダ植物で、海岸近くのやや湿った向陽地や噴気孔周辺に生じる。本県では宅地開発や遷移進行などによる生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布 中津・宇佐低地，九重火山群，別府湾沿岸域，豊後水道域

分布域 北海道東部,本州(東北地方中部以西),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界の熱帯・亜熱帯

生育環境 沿海地・低地の日当たりのよい崖や路傍，噴気孔周辺。

現 状 かつては都市部にも生育地が多くあったが、そのほとんどが消滅し、近年は郊外でも消滅した生育地が目立つようになった。

シナミスズラ

Isoetes sinensis Palmerミスズラ科
Isoetaceae

カテゴリー

大分県 IA

環境庁 IB

選定理由 本州のごく一部と九州に希に分布する。本県では県北部の池沼に生育しているが、池沼の改修や水田除草剤、富栄養化の影響を受け、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 中津・宇佐低地

分布域 本州(新潟),九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
中国揚子江流域

生育環境 低地や丘陵地の浅い池沼。

現 状 県北部の池沼にごく希に生育している。生育個体は池沼の水量が減った時だけに確認できる。